

# 株式会社テラプローブ 決算説明資料

2015年3月期

# 2015年3月期 業績説明

# 2015年3月期業績の概要

## メモリ事業

- テスト時間の短縮が進むとともに、国内顧客の生産量減少などにより、前年度に比べ売上高は減少
- 減価償却費の減少などにより増益

## システムLSI事業

- テスト受託は国内・台湾子会社ともに売上高増加(過去最高)
- 構造改革による費用改善効果などにより、第4四半期黒字に転換

## その他

- 事業再構築に向けた構造改革を実施(特別損失9.5億円計上)



前年度に比べ減収だが、営業利益は59%増加

# 2015年3月期 通期・第4四半期 実績

(億円)

		前年同期比較			前四半期比較		
		FY2013	FY2014	YoY増減	3Q/FY2014	4Q/FY2014	QoQ増減
売上高	メモリ	160.3	145.3	-15.0	35.8	34.6	-1.2
	システムLSI	56.5	65.0	8.5	16.3	17.9	1.6
	その他	-0.1	2.7	2.8	1.0	0.9	-0.1
売上高		216.7	213.0	-3.7	53.1	53.3	0.2
営業利益	メモリ	29.1	34.0	4.9	9.2	7.9	-1.3
	システムLSI	-8.2	-8.5	-0.3	-3.2	0.3	3.5
	その他	-12.5	-12.1	0.4	-3.1	-3.3	-0.2
営業利益		8.4	13.3	4.9	2.9	5.0	2.1
営業利益率		3.9%	6.2%	—	5.5%	9.3%	—
当期純利益		0.6	-4.8	-5.4	-4.5	0.8	5.3
当期純利益率		0.3%	-2.2%	—	-8.4%	1.6%	—

# 2015年3月期 実績増減分析①

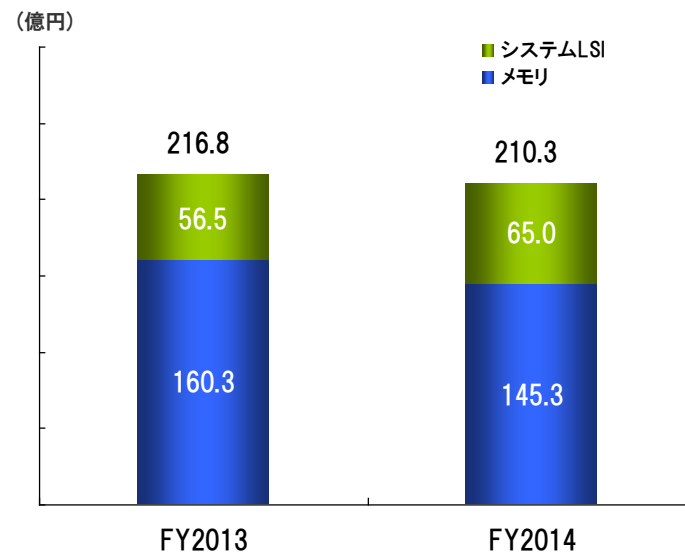
## 2014年度売上高 (YoY)

### <メモリ事業>

- 台湾子会社は増加したが、国内は受託数量の減少及びテスト時間短縮の進展により、減少

### <システムLSI事業>

- WLP・BUMPの受託は減少したものの、テスト受託が国内・台湾ともに増加



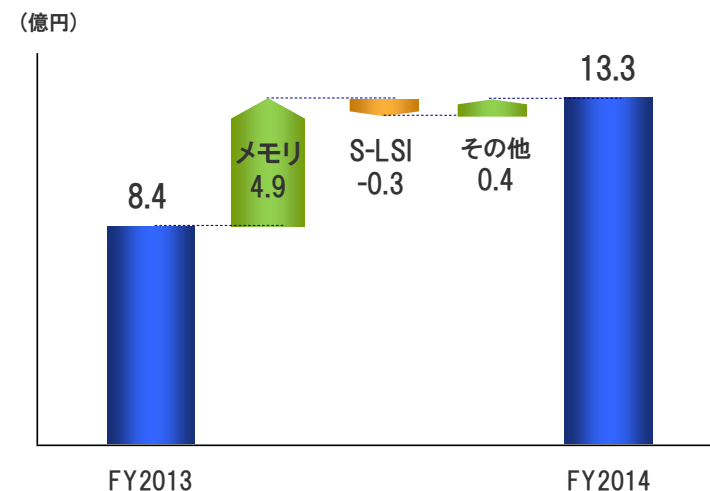
## 2014年度営業利益 (YoY)

### <メモリ事業>

- 売上高は減少したが、減価償却費の減少などにより増益

### <システムLSI事業>

- 売上高は増加したが、減価償却費など新規投資に伴うに諸費用の増加により微減



# 2015年3月期 第4四半期実績増減分析②

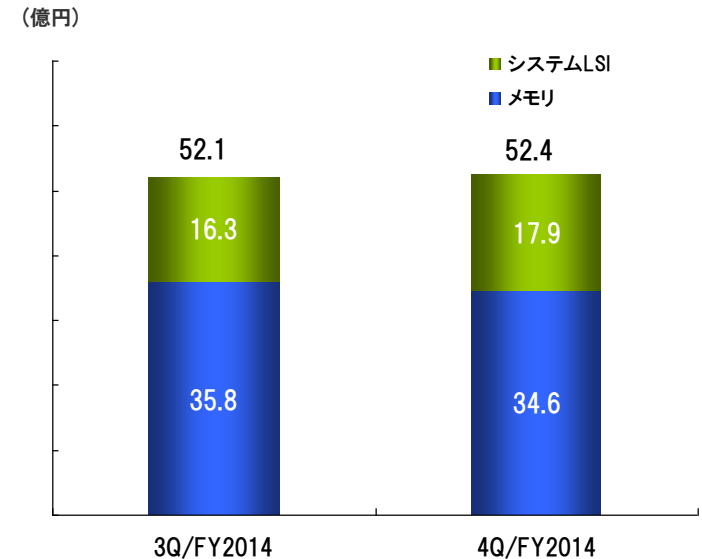
## 2014年度第4四半期売上高 (QoQ)

### <メモリ事業>

- 台湾子会社は堅調だったものの、国内顧客の生産システムの切り替えに伴う一時的な生産調整やテスト時間の短縮が進み、減少

### <システムLSI事業>

- テスト受託、WLP・BUMP受託ともに増加



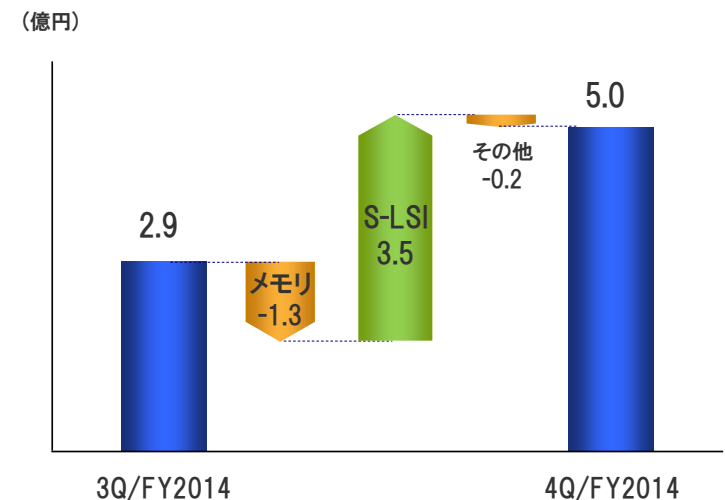
## 2014年度第4四半期営業利益 (QoQ)

### <メモリ事業>

- 売上高の減少により減益

### <システムLSI事業>

- 売上高の増加及び構造改革進展による費用改善効果などにより増益
- 四半期ベースで黒字化



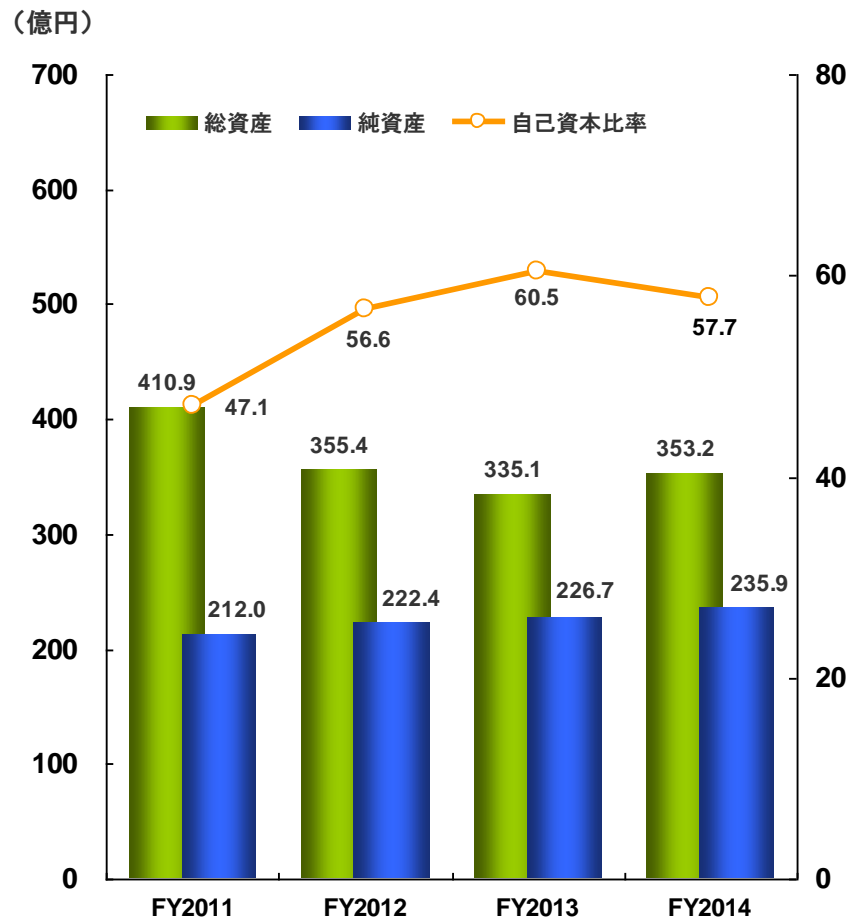
# 貸借対照表の比較

(億円)

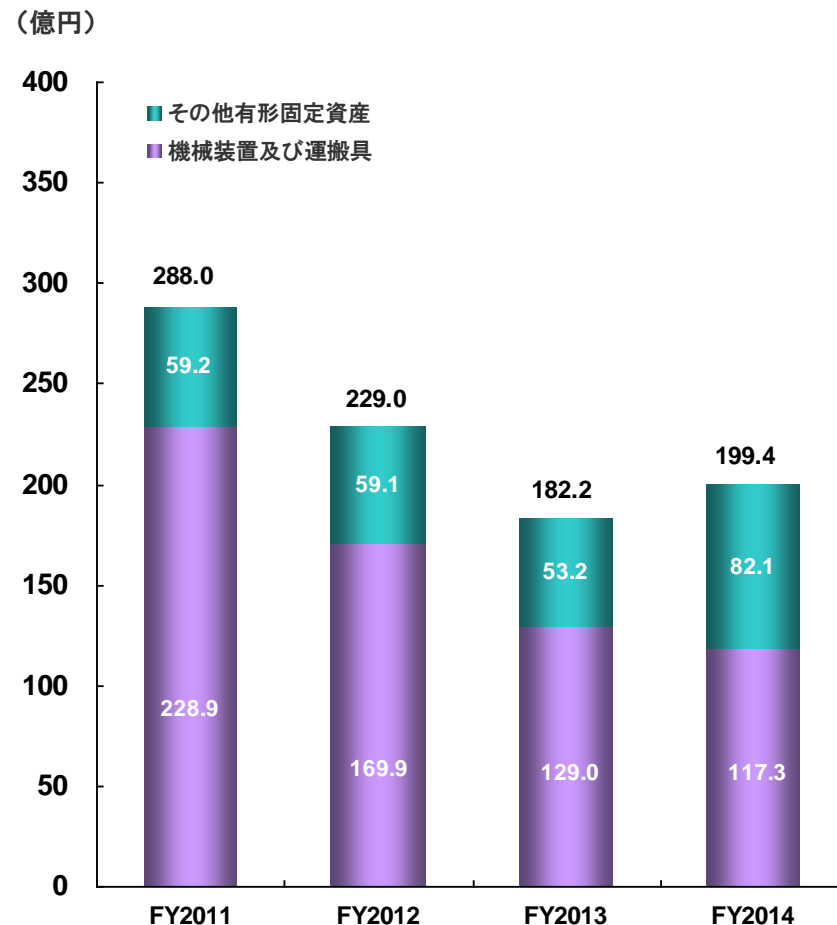
	FY2013	FY2014	増(減)
<b>流動資産</b>	138.2	143.7	5.5
現金及び預金 等	85.8	88.8	3.0
売掛金	37.1	44.1	7.0
<b>固定資産</b>	196.9	209.6	12.6
機械装置	129.0	117.3	(11.7)
<b>資産合計</b>	335.1	353.2	18.1
<b>流動負債</b>	76.9	79.6	2.7
借入金	19.0	11.0	(8.0)
リース債務	25.4	22.0	(3.3)
<b>固定負債</b>	31.6	37.7	6.2
借入金		20.7	20.7
リース債務	21.9	8.7	(13.2)
<b>純資産</b>	226.7	235.9	9.2
<b>負債純資産合計</b>	335.1	353.2	18.1
<b>自己資本比率</b>	60.5%	57.7%	(2.5%)

# 財務状況の推移①

## 総資産・純資産・自己資本比率



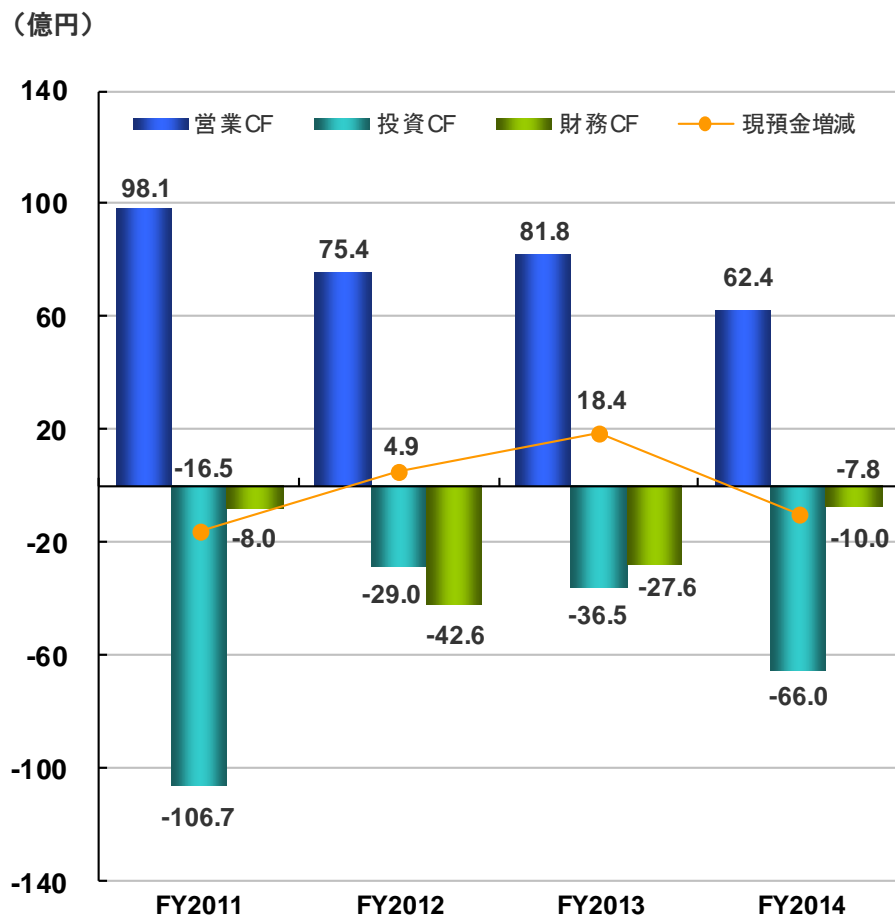
## 有形固定資産の推移



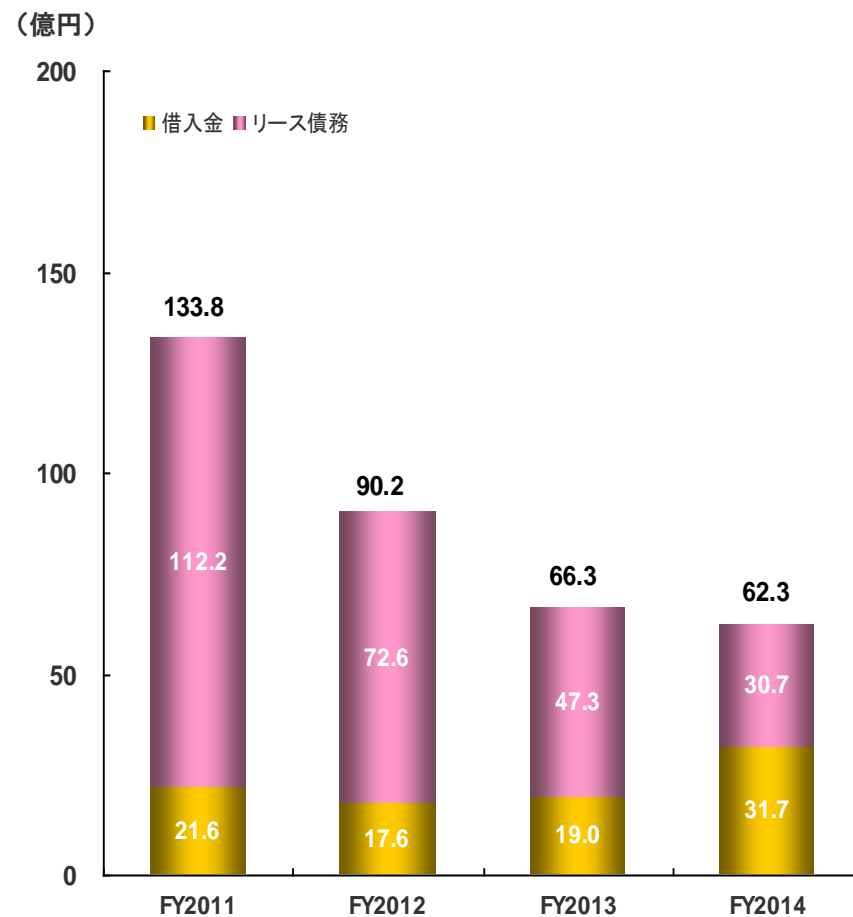


## 財務状況の推移②

### キャッシュフロー



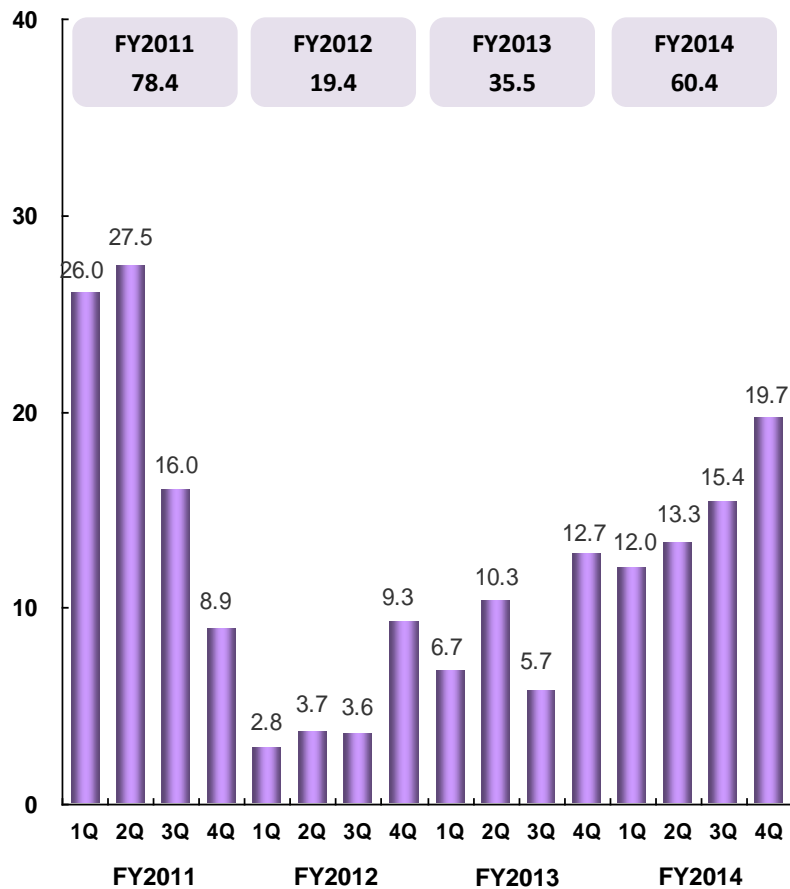
### 借入金・リース債務残高



# 設備投資及び減価償却

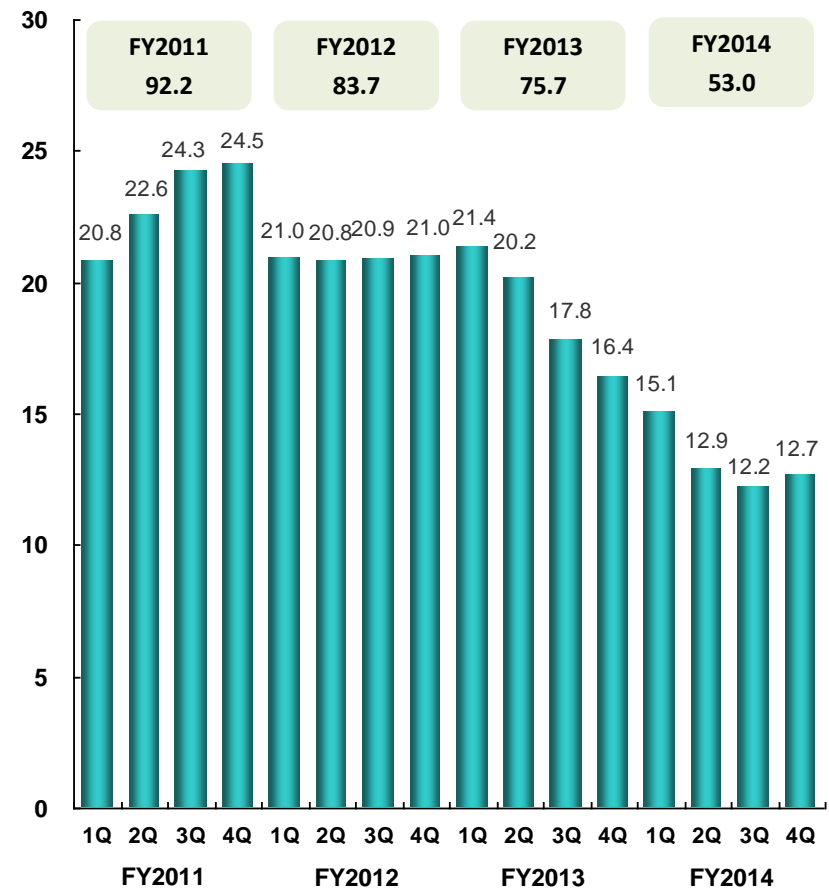
## 設備投資額推移

(億円)

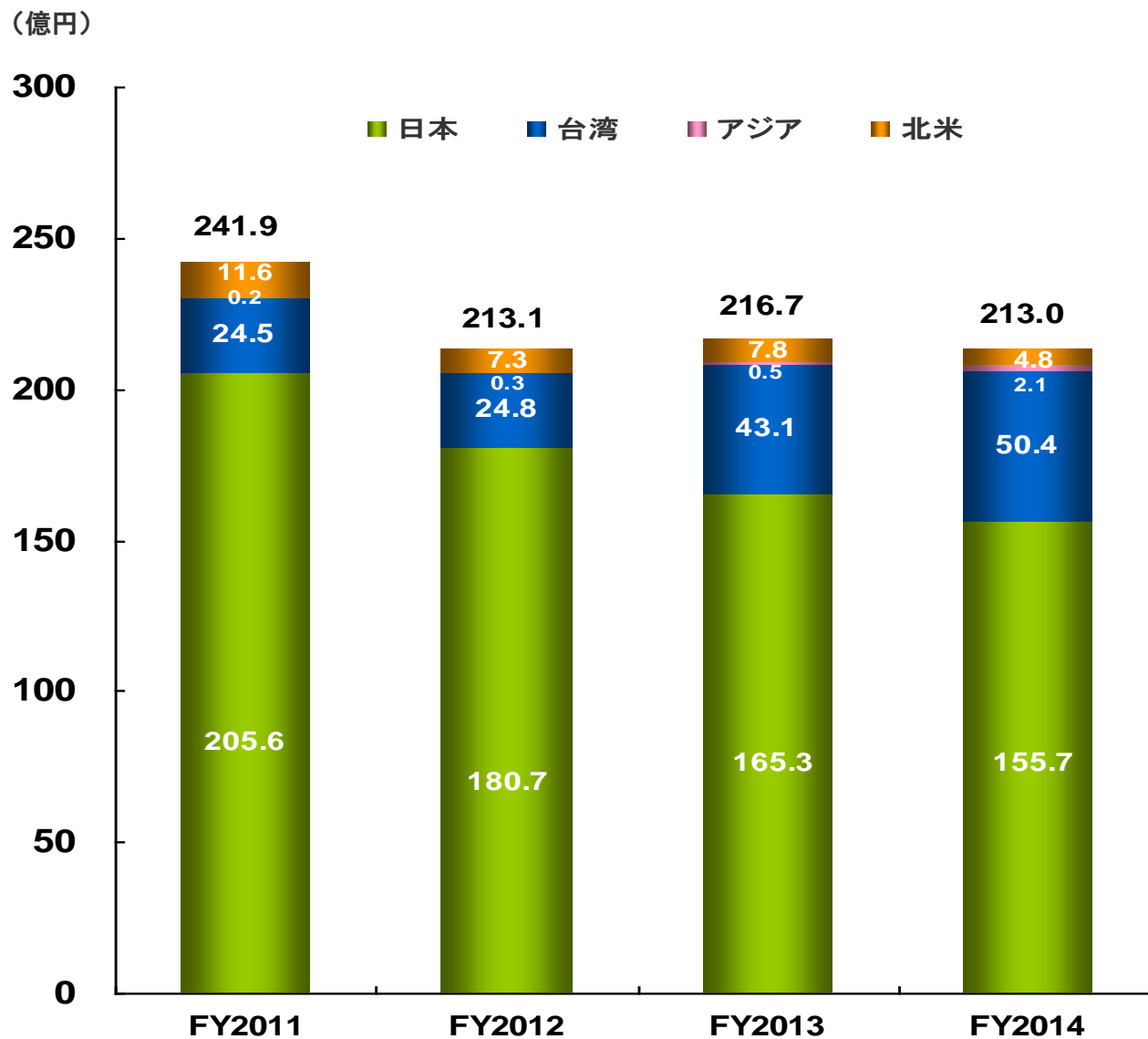


## 減価償却費推移

(億円)



# 地域別売上高



# 2015年3月期のトピックス

## 顧客基盤の分散化

- 日系顧客の取り込みなどにより、台湾子会社 TeraPower の売上高が過去最高を更新
- 九州事業所においてセンサ及びマイコン(車載含む)用テスト装置の能力増強

## 生産性の改善

- 青梅事業所の構造改革を実施（事業構造改善費用 9.5億円）費用改善効果はおよそ2億円/四半期

## 新分野への取り組み

- 顔認証ソフトウェア・ライブラリ TeraFaces™ を ARM コア搭載のSTマイクロエレクトロニクス製32bitマイコンへ対応
- 世界最小の顔認証モジュール“TeraFaces™モジュール”の販売開始

# 2016年3月期 第1四半期業績予想

# 2016年3月期 第1四半期業績予想の概要

## メモリ事業

- 生産数量は回復するが、テストタイム短縮は進み、受託は前四半期比横ばいの見込

## システムLSI事業

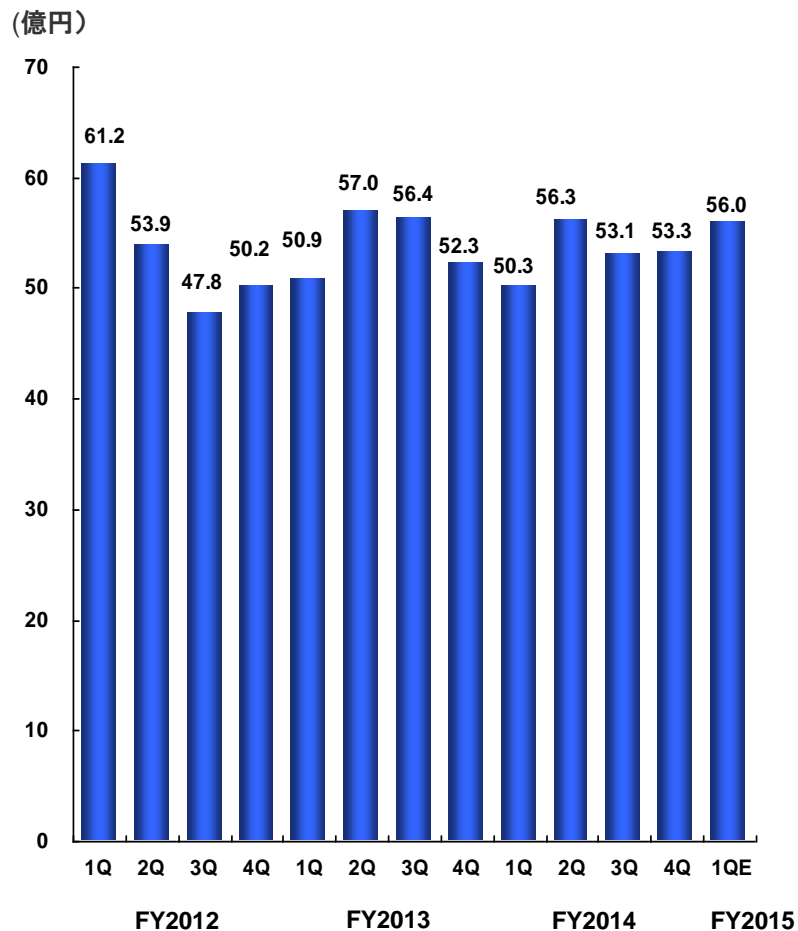
- テスト受託、WLP受託とも、前四半期比緩やかに増加の見込み
- 新規投資に伴う減価償却費などが増加



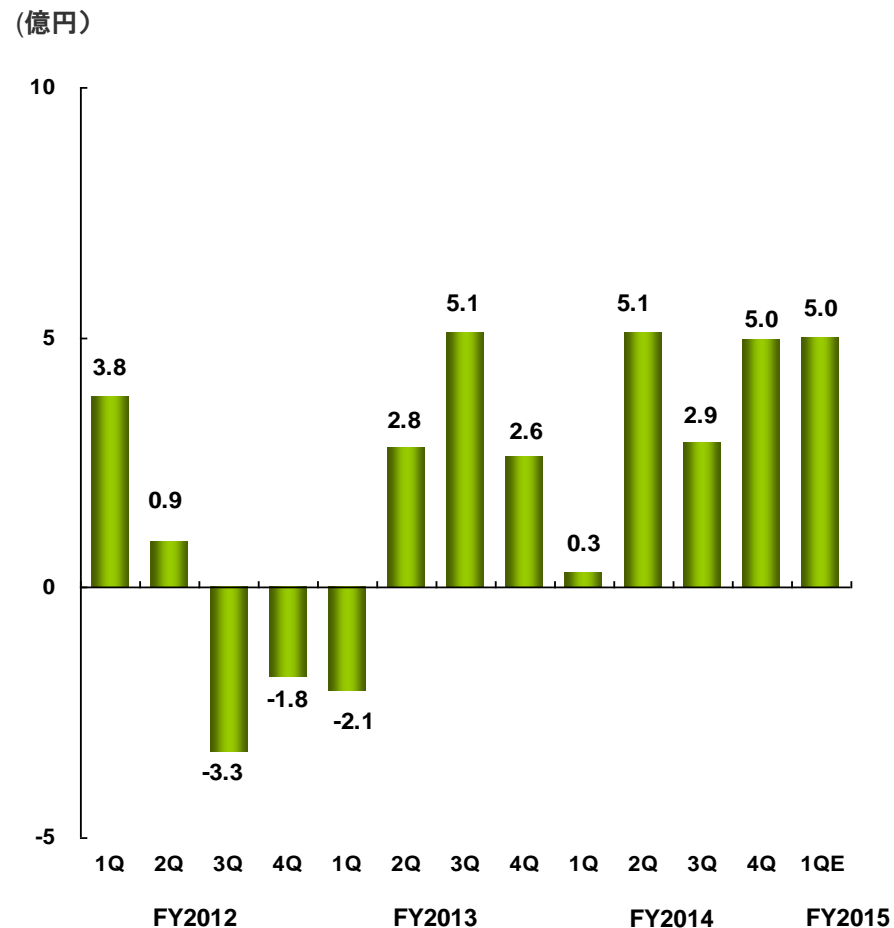
前四半期に比べ  
売上高は微増だが、営業利益は横ばい

# 売上高及び営業利益推移

## 売上高推移



## 営業利益推移



## 本資料における注意事項等

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社テラプローブ(以下、弊社)の現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、発表時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資を行う際は、必ず弊社が開示している資料をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断において行っていただきますよう、お願い致します。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社テラプローブ

ファイナンス部門

TEL (045)476-5711

URL <http://www.teraprobe.com>